

馬走るりヶ丘自治会 高齢者の交通手段について

この資料は、受講生が地域デザインカレッジのプログラムの中で考えた企画を発表用にまとめたものです。自治会や町内会が組織として作成したものではありませんのでご了承ください。



馬走るりヶ丘自治会 大石 里美

馬走るりヶ丘



○概要

世帯数：178世帯

組数：12組

自然豊かな場所・閑静で
住みやすい。

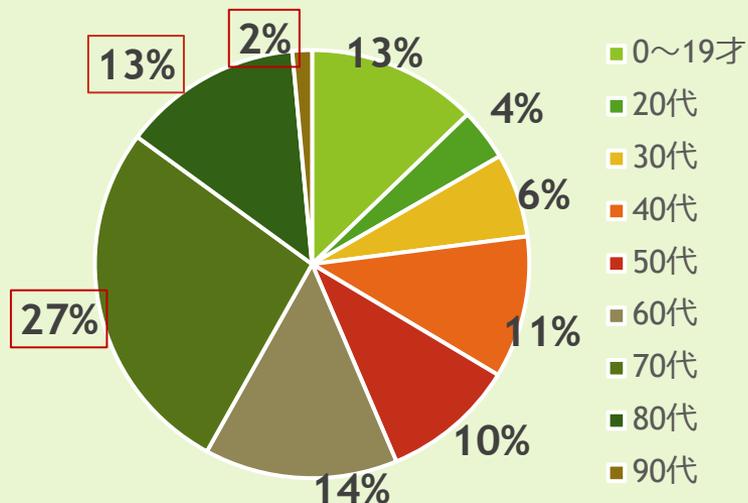
○地域の課題

- ・ 幹線道路まで**1.5KM**
- ・ 徒歩では…
最寄りのイオンまで**30分**
静鉄御門台駅まで**30分**
- ・ 路線バスが通らない

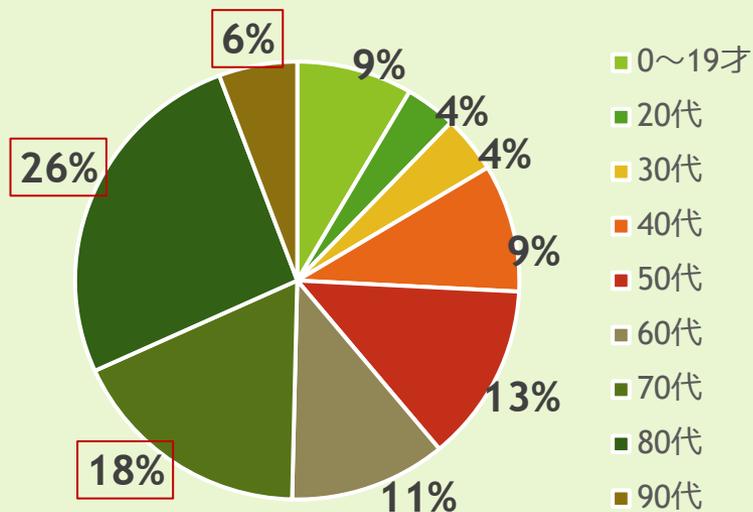
現状と理想の姿

馬走るリヶ丘自治会 年齢別人口割合のグラフより…

R5年度



R10年度（予測）



- ・ R5年度では70歳以上の割合が全体の**42%**を占める。5年後には**50%**まで増加する見込み。
- ・ 今後、運転免許証を返納する人が増えると、日常の買い物や通院で、交通手段に困る人が増える見込み。

高齢になっても移動の手段に困らず、安心して暮らせる状態を目指したい！



既存の取り組み

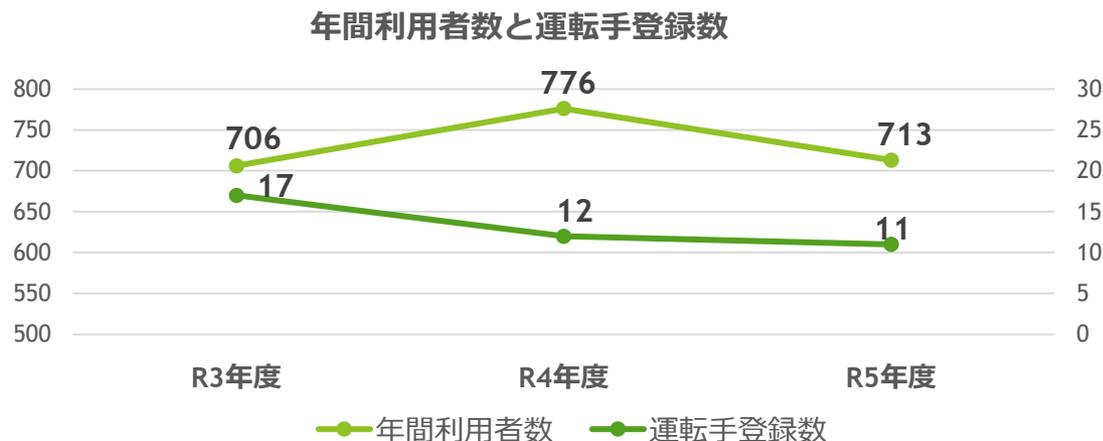
◎交通弱者対策事業に参入し運行している。

- ・ 静岡市役所の事業で、住民主体の移動支援に対し、市が補助を行う事業（※上限あり、対象は交通弱者）
- ・ 有度地区にて3自治会が実施中
つつじヶ丘団地、草薙団地、馬走るりヶ丘自治会にて実施中
（※馬走るりヶ丘自治会は令和3年6月から実施している）
- ・ 馬走るりヶ丘自治会の場合…
 - ・ ルート：馬走るりヶ丘⇄静鉄狐ヶ崎駅 ※車で5分程度の距離
（実際には駅付近のイオン清水店に停車）
行きは指定の場所に集合、帰りは利用者の自宅前で降ろす
 - ・ 便数：週2回（日曜日10時出発、水曜日13時出発）※ピストン運行もしている
 - ・ 利用者：現在18名が登録、月間実績総数66名前後
 - ・ 予約方法：2か月前に事務局が作成、予定を伺い乗車日程が決まる
 - ・ 経費：静岡市の補助&有度地区社協

既存の取り組み

◎交通弱者対策事業の現状

・運転手の不足



- ・ 年間利用者数は700人前後
→ 大幅な減少はない
→ 需要はある
- ・ 運転手登録者数が、
17人から11人に減少している
→ ボランティア確保に苦戦
→ 運転手が増えず、新規利用者を増やせないのが現状

・事務局の負担

- ・ 忘れ物の対応も多々ある。
 - ・ 乗車日を忘れてたり当日キャンセルが多い。
 - ・ 高齢運転手による運転の不安。（若い運転手は仕事のない休日のみ対応）
- ・ 令和5年8月、連合自治会長含めた利用3自治会の話し合いにて、令和7年度で交通弱者対策事業の取り止めの意見も上がった。

※R3年度は6月スタートのため10ヵ月の利用者数
※R5年度は10月までの実績をもとに12ヵ月分の推定値を算定

故に、次の高齢者の日常の足を支える方法を自治会でも模索する必要性が出てきました。

既存の取り組み

- ・ 交通弱者対策事業の他の移動手段
 - ◎移動スーパー
 - 令和5年6月から毎週木曜日16:00~来ている。
- ・ 交通弱者対策事業の代わりに考えている手段
 - ★乗合タクシー
 - ★イオンシャトルバスの誘致
(連合自治会にて検討中。令和5年8月時点)
 - ★他の交通弱者対策事業に変わるカーサービス
(自治会単独で動くか?他の自治会と連動するか?)

今までも交通手段の検討をしてきましたが、この度、まず現在75歳以上の方の移動手段や買い物事情を把握するため、聞き取り調査の実施、他地区の事例を調査することから始めることにしました。

(1) 聞き取り調査

期 間：令和5年10月～11月（約2か月）

対 象：75歳以上の男女 121人（提出114人）

調査目的：①移動手段の実態把握 ②必要な支援を探る

調査方法：各組の組長によるヒアリング

◎地域の方とコミュニケーションが取れるように！

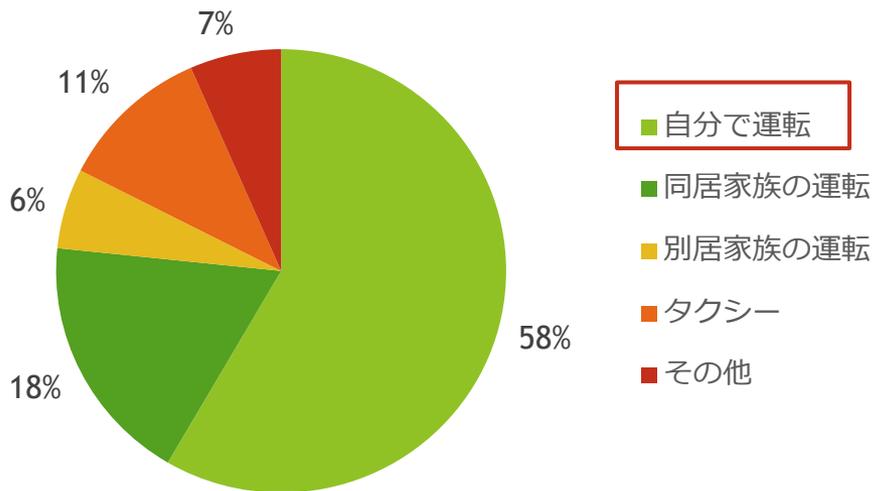


《調査内容》

- ①年齢
- ②日常的な移動手段（自分で運転する人→今後の免許返納の可能性）
- ③どこで買い物をしているか（食料品と日用品それぞれ）
- ④買い物に出かける頻度（週に○回）
- ⑤よく行く医療機関とその頻度
- ⑥乗り合いタクシー（または割り勘タクシー）を利用したいか
 - ・片道いくらなら利用したいか
 - ・どのようなコースなら利用したいか
 - ・週に何回利用したいか
 - ・予約の際、スマホ操作は可能か
 - ・利用したい時間帯
- ⑦自分で運転できなくなった時、買い物や通院を助けてくれる人の有無
- ⑧自分で運転できなくなった時、どのような支援がほしいか

① 移動支援の対策必要？ → 必要！

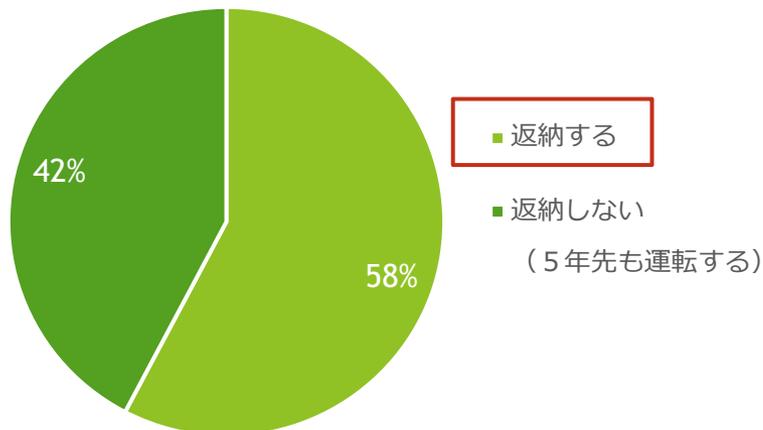
日常的な移動手段（％）



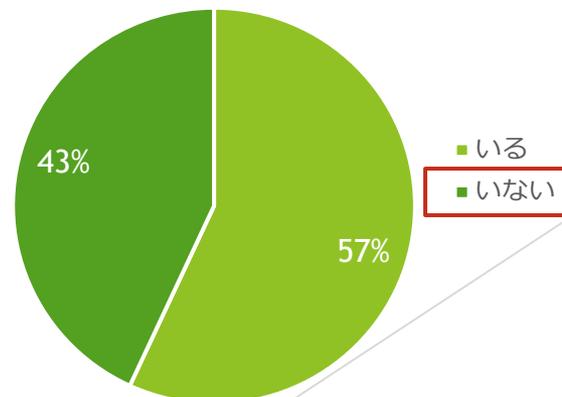
75歳以上でも、自分で運転している人は114人中、80人いる。

- ・しかし、そのうち半分以上が運転免許の返納を考えている。
- ・また、自分で運転できなくなった時、助けてくれる人がいない人も半分近くにのぼる。

運転免許証の返納予定（％）



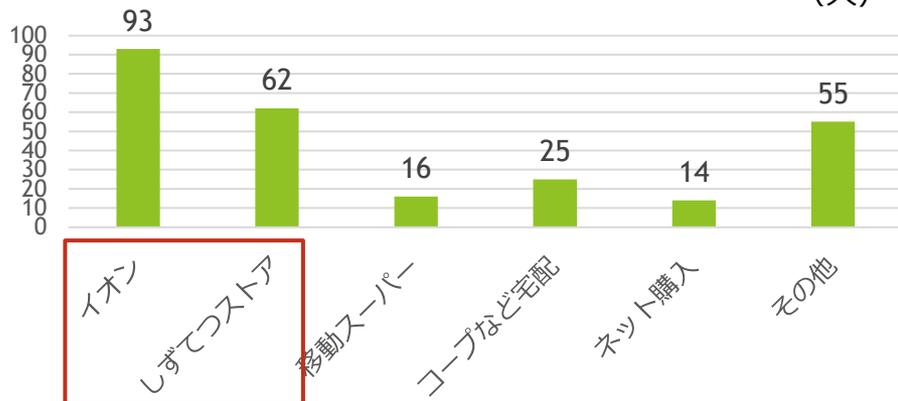
自分で運転できなくなった時、
助けてくれる人がいるか（％）



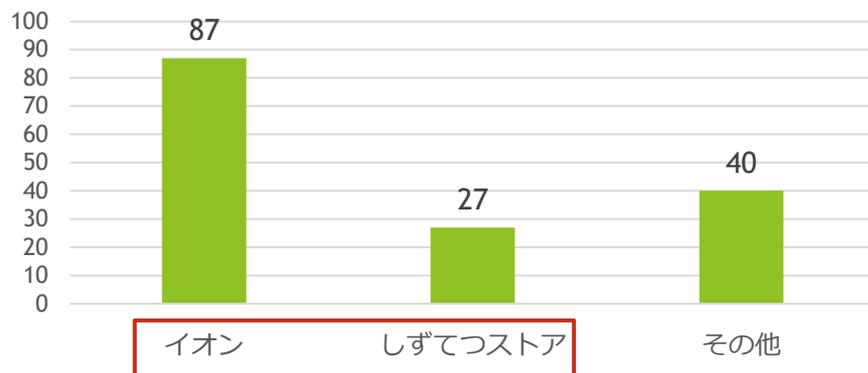
考察：
移動支援の対策を考えないと、高齢者の半分以上は移動手段に困ってしまう。

② 場所や距離は？ → 車で5～10分圏内！

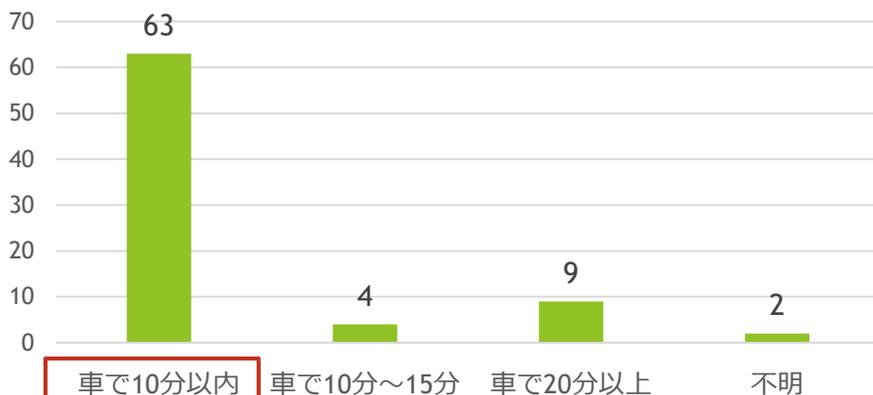
普段どこで買い物をしているか【食品】 (人)



普段どこで買い物をしているか【日用品】 (人)



普段どこの病院を利用しているか (人)



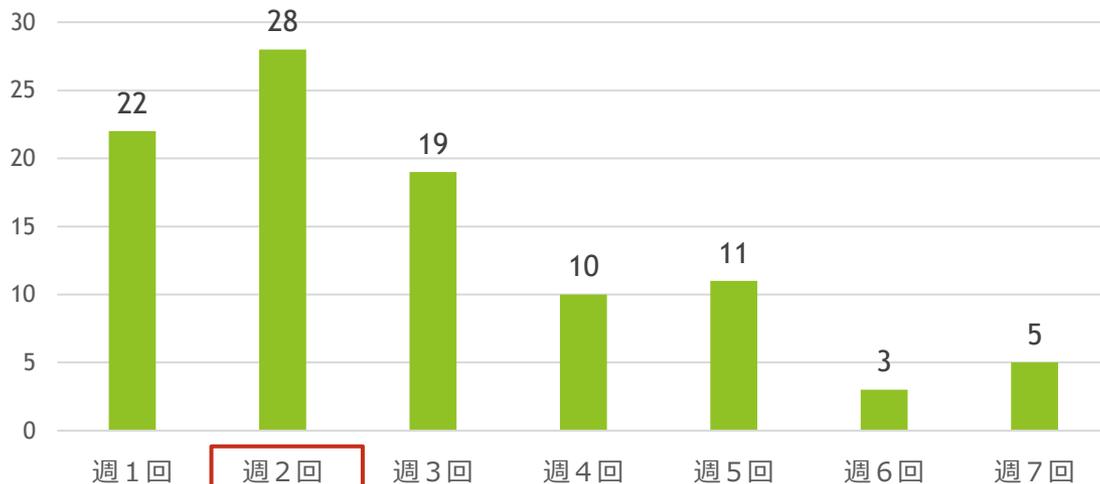
・ 買い物はイオンやしずてつストアなど、車で5分程度の場所を利用している人が多い。

・ 病院も車で10分以内の場所を利用している人が多い。

考察：
車で5～10分圏内の商業施設や病院への交通手段の確保が必要

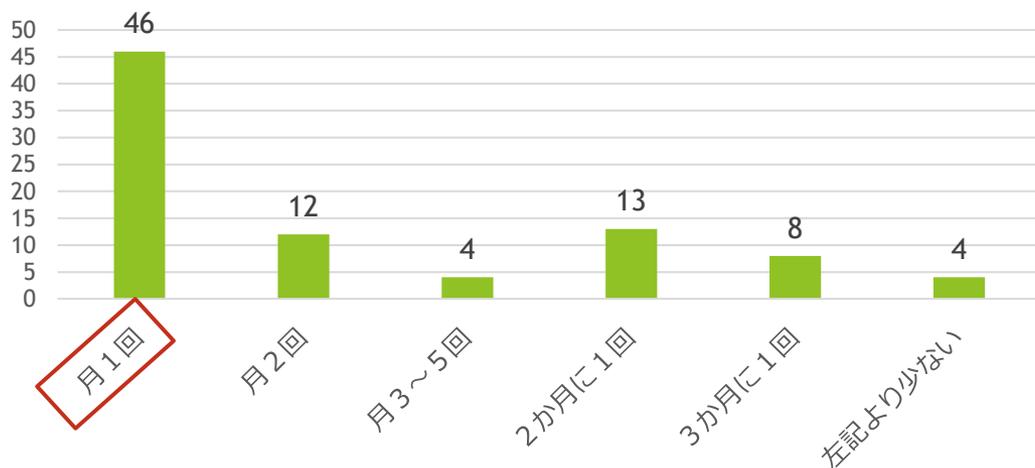
③ 外出頻度は？ → 週1～2回！

買い物へ行く頻度（人）



・買い物は週1～2回行く人が多い（全体の約50%）

病院へ行く頻度（人）



・病院は月1回行く人が多い（全体の約50%）

考察：
少なくとも週1～2回は運行する必要がある。

(2) 事例の調査

馬走るリヶ丘との違いを発見！

	馬走るリヶ丘 交通弱者対策事業	駒越地区 交通弱者対策事業	三保地区移動支援 買い物行こカー
運転手	自治会でボランティア募集	地区社協の方々	NPO法人そな一れ
車	8人乗り(乗車は7人まで)	7人乗り	8人乗り
経費	静岡市&有度地区社協	静岡市&地区社協 (自治会負担なし)	NPO法人そな一れ
利用者数	現在登録18名 月間実績総数66名	*コロナ禍以降便数が 減っている	10名
予約方法	2か月前に事務局が作成、 予定を伺い乗車日程が決 まる。	事前登録制で、路線バス のように当日時刻になり 利用者は時間までに所定 の場所にいると乗れる。	事前登録制 休みの時だけ連絡する。
便数	毎週日曜日10時出発、 毎週水曜日13時出発 (買い物時間40分)	毎週火・金 4便	毎週金曜日9:30発、10時着 利用者が多い日はピストン運行 する。
行先	イオン清水店	ベイドリーム	マックスバリュ
スタッフ	なし	なし	利用者1名につき2名のスタッフ
乗車場所	自治会内の4か所	所定の場所	利用者の自宅前
降車場所	利用者の自宅前	所定の場所	利用者の自宅前

今後の取り組み

◎今後導入したいもの（検討中）

バス停型乗合タクシー（デマンドタクシー）

- ・有度地区の公共交通がないエリアの自治会と生活に必要な店や病院の近くまでを結び、走行するもの（藤枝市が導入している）

バス停型乗合タクシー

- ・一般のタクシー車両を使用した、路線バスのように時刻表が決まっているが、予約の入った便のみ運行、乗合で利用する公共交通。
（予約…タクシー会社 運転…プロのタクシー運転手 をイメージ）

- ・心の豊かさのための「おでかけ手段」についてもカバーしていけるように、高齢者の足を当自治会に確保するのがゴールだと思う。
- ・「教育と教養」…高齢者の若々しさを保つため、“今日行くところ、今日用がある”をサポートして行きたい。